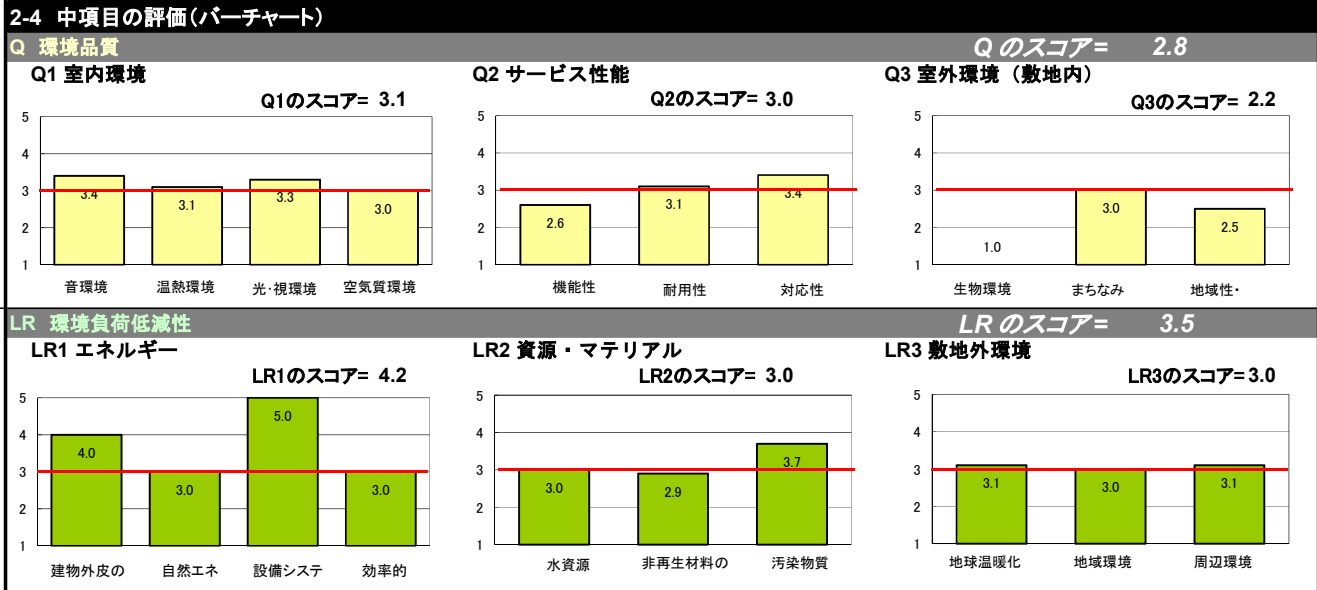
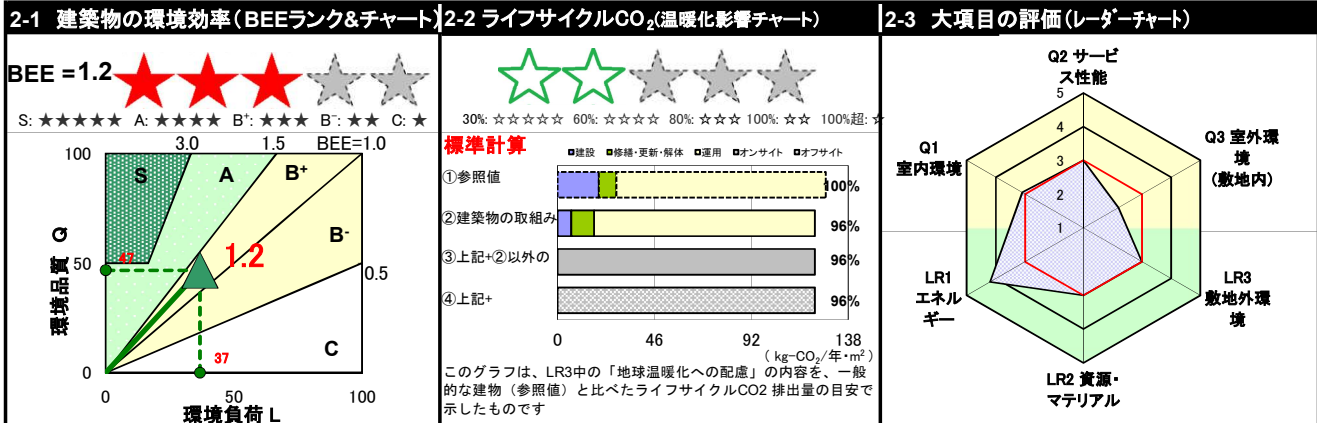


CASBEE®-建築(新築)

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 (使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v4.02))

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)愛宕3丁目プロジェクト 新築工事	階数	地上14F
建設地	福岡県福岡市西区愛宕4209-1の一部他53	構造	RC造
用途地域	一種住居地域、法22条地域	平均居住人員	500 人
地域区分	7地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2026年3月 予定	評価の実施日	2024年6月5日
敷地面積	9,821 m ²	作成者	村田 寛之
建築面積	2,025 m ²	確認日	2024年6月7日
延床面積	14,369 m ²	確認者	村田 寛之



3 設計上の配慮事項		
総合	その他	0
空気住環境、機能的な空間作り、敷地内環境、省エネルギー、敷地外環境への配慮にそれぞれ取り組んでおり、低炭素社会の実現に努めている。		
Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境(敷地内)
全住戸サッシは複層ガラスを使用、外壁は断熱材を吹付けた防露壁とした。またシックハウス対策はF☆☆☆☆材料を採用した。	共用廊下、住戸内床の段差をなくし、バリアフリーに配慮した。	建物周辺の空地を設け、採光・通風を確保した。
LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
共用部照明は、タイムスケジュール制御とし、共用部・住居部共に主要な照明はLED照明を採用した。	節水型便器を採用した。	アプローチ沿いに植栽帯を設けた。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される